

奥玉振興協議会では、「緑の募金」を財源とした環境緑化木の配付を受け、7月10日に事務局職員総出で飛ヶ森キャンプ場内に植樹を行いました。今年度は、ヤマボウシ、クヌギ、モミジ合計20本を岩手県緑化推進委員会に申請していたもので、毎年少しずつ樹木の更新を行い環境緑化に努めています。なお、植樹後の苗木にはシカなどの食害対策も実施予定です。



平成 29 年 4 月から本年 7 月までの 8 年 4 か月間に渡り奥玉市民センター並びに関連する施設の夜間及び休日管理人として勤めていただいた千葉昭浩さんが、7 月末日で退任されました。

千葉さんには当協議会長と市民センター所長連名で感謝状を贈呈し、長年の御労苦に対し感謝の意を表しました。



地域との交流を実践している NPO 法人響生（ひびき）（杉山浩理事長）の要望に応え、7月30日と31日の両日に奥玉市民センターの出前教室が行われました。

夏休みを迎えたリトル・ピースの子どもたちのもとに市民センター職員3名が出向き、2日間で15名の子どもたちに作り方を指導しながら一緒にふるさとまつりで飾る「灯籠作り」を体験しました。



「ひびき」での灯籠づくりの出前講座

日	曜日	時間	行 事 内 容	場 所 等
15	金	18:00	第 53 回奥玉ふるさとまつり	奥玉市民センター前庭
27	水	9:00	奥玉地区交通安全スローイングビンゴ大会	千厩維新館
28	木	9:00	せんまや里山塾「食べて健康コース③」（移動研修）	花巻市方面
30	土	8:30	学びの土曜塾④「塩作りと乗船体験」（移動研修）	気仙沼市方面
31	日	8:30	飛ヶ森キャンプ場一斉草刈り作業②	飛ヶ森キャンプ場
7	日	8:30	奥玉市民センター・町下自治会地域づくり移動研修	釜石市方面
10	水	9:00	あらたまウォーキング⑤「上川原～立石沢コース」	奥玉市民センター集合
16	火	9:00	あらたま水曜塾～おとな版～③「かまばた織体験」	興田市民センター

昭和一〇〇年々おくたまの夏、
ふるさとまつりのテーマは、応募作
の中から決定しましたが、この「協議会
だより」も目出度く一〇〇号を発行す
ることが出来ました。特集記事もなく
通常どおりの紙面です。

思い起こせば紙面づくりはパソコン
やカメラ、印刷機、紙折り機などとの
「格闘」でした。機械が言うことを聞か
ず締め切りまで悪戦苦闘の連続でし
た。先日、ある先輩から「文章は少な
く写真を大きく」との要望・助言も頂き
ました。さらに工夫します。（達男）

盆の仏を迎えるために灯すのが灯籠。
秋の季語
今年の出前講座で制作したオリジナル灯籠は、昨年の「手作り吹き流し」などとともに8月15日のふるさとまつりを彩ります。



(写真は、「灯籠」を手にするサロンなかひなたのみなさん)

第 100 号
令和7年 8月 8日
発行：奥玉振興協議会
事務局＊奥玉市民センター内
電話：0191-56-2950
FAX：0191-56-2906

今年のテーマは「昭和 100 年～おくたまの夏～」

地域の皆様のご協力を頂きながら、手作り感あふれるお祭りを目指します。

多くの皆様のご来場をお待ちします～



奥玉市民センターでは、奥玉ふるさとまつり応援教室として 7 月中に各サロンや自治会等に出向きながらオリジナルの「灯籠づくり」の体験講座を行っています。

ここ数年は、奥玉型 SDGs の取り組みとして「ペットボトル風鈴」「手作り吹き流し」の制作を実践。今年の「灯籠づくり」もその延長線にあり、ふるさとまつりと連動した体験講座として定着しています。材料は、事務局であらかじめ準備し、「紋切り」などは作る人の個性が出せるように工夫されています。7月19日に開催した町下地区では、自治会とサロン活動の合同開催に17名の参加がありました。

学びの土曜塾やNPO法人響生（ひびき）への出前講座も含めて、今年の応援教室は7月中旬に10会場で12回開かれ、延べ118名が参加しました。



灯籠づくりの出前講座



町下自治会とサロンひまわりのみなさん（町下会館）

奥玉ふるさとまつりでの演奏発表をめざし、子どもたちによる太鼓練習が、今年も7月22日から8月14日まで全4回の日程で行われています。今年は、奥玉地区の小学生14名を含む18名が参加し、根山打ちばやし保存会(藤野文明会長)の皆さんの指導を受けながら、千厩音頭と千厩小唄を熱心に練習しています。

今年で3年目となるため、昨年体験した子どもも多く、「上手だね」などと褒められながら、最初は大きな紙に書いた譜面を見ながら、先生の演奏に合わせてくり返し練習。6年生は思い出づくりの伝統芸能体験学習も兼ねており、練習日以外に特訓に訪れる子どもも多く、大太鼓での猛練習に励んでいます。

ふるさとまつり当日は、地区民参加の盆踊りの音楽に合わせ、揃いのはっぴ姿で「太鼓演奏」を披露する予定です。



高学年の太鼓練習



低学年の太鼓練習

水道の未来を考えるワークショップ 安全・強靱・持続 R7.7.29

一関市の次期水道事業ビジョンの策定に向けた「水道の未来を考えるワークショップ」が7月29日に千厩市民センターを会場に開かれ、各地域協働体などから6名が出席し、意見交換が行われました。当協議会からは菅野会長と村上事務局長の2名が参加。当日は、～安全・安心な水を飲み続けていくために～と題して話し合いが行われ、人口減少に伴う給水収益の減少、施設の老朽化、更新需要の増加など取り巻く状況の変化に対応して「安全」「強靱」「持続」を将来像に掲げた新ビジョン策定に向け議論。千厩地域の水道水は、川崎町の上巻取水場と一ノ坪の水源で賄われており、改めて将来に渡る安全で安心な水の供給について考える機会となりました。



ワークショップ参加者（千厩市民センター）水道職員も話し合いに参加

千厩赤十字奉仕団 奥玉保育園で環境整備奉仕活動 R7.7.30

一関市千厩赤十字奉仕団（五嶋秋子委員長）による草取り奉仕活動が、7月30日午前中に奥玉保育園で行われました。町内保育園への環境整備奉仕活動の一環として計画されたもので、連日の猛暑が続くこの日は、会員など約20名が草刈り機や鎌などを手に約1時間施設周辺の草刈りや園庭の草取り作業に汗を流しました。

作業終了後は、園ホール内での園児との交流も行われ、夕涼み会でも元気に踊ったという「エビカニクス音頭」の踊り披露があり、参加者から拍手や声援が送られていました。



奥玉保育園庭の草取り奉仕活動と保育園児との交流

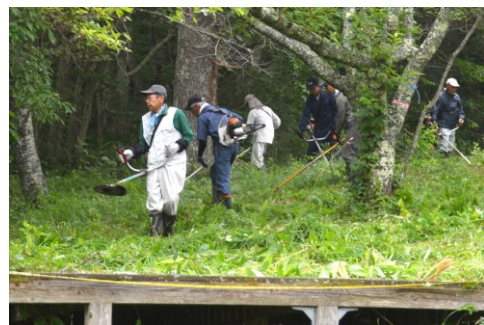
飛ヶ森キャンプ場一斉草刈り作業① キャンプ場をきれいにする会 R7.7.13

飛ヶ森キャンプ場をきれいにする会（足利幸治会長）では、7月13日の午前中にキャンプ場周辺の環境整備作業として一斉草刈り作業を行いました。

当日は会員約60名が草刈り機持参で参加し、駐車場や広場、周辺の遊歩道など合わせて約1ヘクタールほどの草刈り作業を行ったほか、トイレや炊事棟、東屋周辺の清掃も行いました。

この日も県外の6組ほどがテントを張りキャンプ中でしたが、事前に作業の周知をしていたこともあり、混乱もなく終了しました。

きれいにする会では当協議会からの委託により、毎月のローテーションを決め、班ごとに清掃活動などを行っており、次回は8月31日に役員等による一斉草刈りが予定されており、作業ボランティアの協力も呼びかけています。



一斉草刈り活動（飛ヶ森キャンプ場）

奥玉振興協議会専門部会（全体会）地域づくり計画の見直し検討も R7.7.24

奥玉振興協議会の専門部会（全体会）が7月24日に開かれ、約50名が出席し、新しい部会長の選出や今年度の各専門部事業計画等を話し合いました。また、今年度は奥玉地区地域づくり計画が策定から10年が経過することから、計画を見直す作業に着手し、各専門部でも今年度内に2回ほどの検討会（ワークショック：あらたま談義）を開催することが説明されました。

【各専門部の新役員】（任期は2年、敬称略）

専門部会名	部会長	副部会長
地域振興部会	小野寺 雅彦(再)	及 川 一 郎(再)
教育文化部会	菅 野 博(新)	菅 原 恵美子(新)
安全安心部会	小野寺 公 子(再)	金 野 剛 一(再)



専門部会の全体会議

「地元学コース」移動研修 原敬・新渡戸稲造の生涯に学ぶ R7.7.15

せんまや里山塾特別課程「地元学コース」の移動研修が、7月15日に、『昭和100年・戦後80年の年に』と題し、盛岡市の「原敬記念館」及び花巻市の「花巻新渡戸記念館」を巡るコースで開かれました。

原敬記念館では、学芸員の渡辺美知さんの案内で「平民宰相」と呼ばれた原敬の生涯や功績について詳細に解説頂き、さらに敷地内の「原敬生家」も案内頂きました。また、開催中の企画展「原敬日記～日記にみる明治大正事件災害録～」を見学しました。

なお、案内頂いた学芸員の渡辺美知さんは、奥玉字梨木洞前の出身で、盛岡市文化振興事業団の職員として令和6年5月から同記念館に勤務されているとのことでした。

花巻新渡戸記念館では、館長より新渡戸家228年の系譜及び新渡戸稲造の生涯について説明を受け、館内の展示内容を見学し「願わくはわれ太平洋の橋とならん」の信念のもと国際人・教育者として活躍した稲造に思いを馳せていました。



「宝積（ほうじゃく）」の碑の前で研修参加者（原敬記念館）

五穀豊穡を願い 八坂神社の祭典 「浦安の舞」や「神輿渡御」 R7.7.19～20

八坂神社（奥村国彦宮司）の祭典が7月19日、20日の両日行われました。

今年も「前夜祭」は行われませんでしたが、地域住民の平安と健康や五穀豊穡を祈る神事のほか、「御前上げ」や地元児童7名の舞姫による「浦安の舞」の奉納などの後、猛暑の中「神輿渡御」が行われ、仮宮までの地区内を往復練り歩きました。

祭り終了後には直会（なおり）が行われ、地区民の交流の場となっていましたが、年々深刻となる旗立て作業や陸尺（ろくしゃく）の人員確保など伝統行事や祭り継続への課題や方策も話し合われていました。



「神輿渡御」（刈屋野地内）



7名の舞姫による「浦安の舞」

おくたま農産「三沢のとうもろこし」即売会 連日盛況！ R7.7.31～8.2

農事組合法人おくたま農産（小野寺勝義組合長）の「三沢のとうもろこし」の即売会が7月31日から8月2日まで3日間行われ、大勢の来場者で賑わいを見せていました。

折り込みチラシの効果もあり初日の販売開始時には、約60台の車が道路沿いに行列を作る盛況ぶりで、交通整理や来場者への対応に追われていました。なお、作業班の皆さんは朝5時頃から当日販売分の収穫作業を行い、寺ノ沢地内の直売所テント・ハウス内では約30名が選別や袋詰め、贈答用の出荷作業に当たるなど活気があふれる即売会でした。

今年は、作付け圃場を変更したことで連作障害もなく収量や品質は概ね良好とのこと。

1袋7～8本入りが1,000円での販売も好調でした。



販売用テントで来場する車列に対応



ハウス内での選別や袋詰め作業

奥玉ふるさとまつり花火協賛金の御礼

花火の協賛金の募集状況は次のとおりです。

★協賛金提供者数：193名 ★協賛金の額：1,690,000円(令和7年7月31日現在)

ご協賛いただきました皆様大変ありがとうございました。（ご芳名は、別途配付のチラシでご紹介します。）

第53回奥玉ふるさとまつり花火実行委員会 会長 菅野 政彦